



## ◆「チェック！ながの県農業サポートメール」紹介についてについて

県では農業被害の未然防止と被害軽減を図るため、災害発生のある場合、農業者の皆さんに技術対策を直接お届けしています。現在、より迅速に、かつ確実に情報をお届けするため、民間の「メールマガジン」を活用した情報配信をしていますので、ご活用ください。

### 1. メールマガジン(柵まぐまぐ)

- 1) 配信時期： 災害の発生が予測される場合、その都度配信します。
- 2) 利用料： 無料
- 3) 受信： 携帯電話（スマートホン、ガラケー）（パソコンでも大丈夫です）

### 2. 配信する情報

晩霜や台風の影響が予想されたり、大雪となりそうな時などに、事前対策などの情報をお知らせします。

### 3. 登録方法 【URL】 <http://www.mag2.com/m/0001627956.html> より

### 4. その他

- 1) 災害関連情報以外にも、メルマガ会社からオフィシャルメルマガが複数届きますので、不要なメールの解除方法は別添をご覧ください。
- 2) 迷惑メール対策を実施している場合は、受信できるよう設定をしてください。

## ◆農作業に係る留意事項について

地域住民より苦情が寄せられています。同じ住民として、配慮しながら農作業をしましょう。

1. 農機具利用（スピードスプレーヤ・動力付噴霧器・爆音機等）の際は、日中も含め特に極端に早い時間等の騒音に注意する。※爆音機は、行政より住宅地より200m以上離す。早朝夜間は使用しないと周知されています。
2. 子供たちの登下校、通勤等の時間等、薬剤散布に注意し、対策を実施する。
3. 近隣に住宅等ある場合は、住宅や洗濯物への飛散をしないよう、配慮しましょう。
4. 剪定枝の焼却は、消防書への届け出を必ず行い、大きな火種や煙に注意（凍霜害資材の燃焼）し、適正な処理をしましょう。

※薬剤防除や焼却は、必要に応じて近隣住民に事前にお知らせする等も実施しましょう。

## ◆スモモヒメシクイ対策について

シクイムシ類は、果樹において、果実害等大きな問題となり、農家の収入に大きな影響を及ぼしている。特に近年発生が増加した、スモモヒメシクイは、りんご・プルーン・スモモにおいて、甚大な被害につながる。

発生源の一つとして、自家用等に園地のプルーン・スモモや庭先に植えられているハナモモ・ボケから、近隣の販売目的に栽培している、りんご・プルーン・スモモへ飛来している事が、課題となっている。

発生源にならないよう、管理作業をお願い致します。近所に見受けられる場合は、声掛けをする。

### 1. 被害果の処理方法

- ①落果した果実も含め“シクイムシ類の被害果”はすべて集め、**7日以上できるだけ長く水浸け**し、果実内の幼虫を殺す。
- ②被害果を土中に埋めても浅いと羽化できるので、穴は深く掘って埋める。  
浅く埋める場合は、基本的に水浸け後に埋める。
- ③**肥料袋に被害果を詰め**て口を縛り、炎天下に放置し、熱で殺した後に埋める。
- ④数量が多いとかさばるので、被害部分だけをくり抜いて処理しても良い。

## 2. その他対策

①薬剤防除等で管理をする。プルーン園では10日間隔の散布を徹底する。

りんご園には8月以降に被害が増加するので、**殺虫剤は散布間隔を短く**し定期的に防除する。

②放任樹等シンクイムシ類の発生源となりそうな樹は伐採する。花桃・ボケなども含む

### スモモヒメ シンクイの 特徴

1. 卵期間は4～7日と短いのが特徴（20℃で約7日）
2. 孵化後直ちに果実内に食入し、約27日で成虫となる。
3. 交尾は羽化後2日目から行う。

**※殺虫剤散布の適期は、成虫発生期である。**

### ◆防霜ファンの電源カットについて

凍霜害の危険の無い時期になったので電源カットをしてください。

落雷の被害を防ぐ為、防霜ファンのブレーカーを切ってコンセント(コネクター)を抜いて下さい。

センサー(サーモスタット)も風雨のあたらないように収納して下さい。

### ◆かん水・排水について

1. かん水梅雨になっても雨が不足する場合があります。降水量が少ない場合は積極的にかん水を実施する。干天が続いたら10日程度に20mm程度又は7日程度に15mm程度のかん水を行なう。

2. 曇天長雨で病害が発生しやすくなるので、農薬散布と耕種的防除の徹底に努める。

殺菌剤の散布を丁寧に行う。雨の前に行う（感染する前に予防する）

水が溜まる所は排水を図り、長雨に備えて圃場周囲に明きよ・暗きよ等の排水対策を行なう。

園の周囲に溝を掘って水を流す。草を伸ばして吸わせるなども合わせて行う。

新梢管理や支柱たてなどを行い、風通しを良くさせる。

### ◆盗難に注意を！！

農産物の盗難に気を付けましょう。また農作業中を狙った車上荒らしやアルミの脚立・農機具の盗難が管内でも発生しています。ご注意ください。(放置せずしまう・カギをかける・持ち帰る)

### ◆農作業事故に注意する

「農作業の安全」に対する意識を常に持つよう心がけ、農作業中の事故・怪我を起さないよう注意して作業に当たる。また、体調不良となったらすぐに作業を中止する。水分補給し、高温時の作業は極力避ける。作業場所に日除けを作る。単独作業は避け、作業は二人以上で行う。声掛けや定期的な確認し合う。休憩は涼しいところで。屋内では扇風機やクーラー活用を。

### 《栽培に関する営農技術員への問合せ》

徳武（篠ノ井西部）：080-1202-0260／外谷（篠ノ井東部）：080-8048-6602

※篠ノ井西部は、新採用職員のため、当面、寺澤・松坂・佐藤・外谷も対応致します。

佐藤（信更）：090-7179-9866／伊藤（松代）：080-2239-6816

松橋（川中島）：090-4816-6297／根津（更北）080-1203-8576

松澤（若穂）080-1191-5166／寺澤（全域・情報担当・編集）：080-1188-5229

吉澤（全域・情報監修）：090-2543-0365

栽培に関しての電話対応は、担当地区関係なく対応できます。園地指導や地区組織関係のお問い合わせは、地区担当までお願い致します。

○果樹のアドバイザー（流通センター長兼務）松坂（篠ノ井西部）080-1188-4131

《栽培・販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／営農販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部農業資材課：299-3311